

手作りマスクを寄付

5月18日、更生保護事業に携わる曾於市更生保護女性会が来庁され、手作り布マスク26枚の寄付をいただきました。女性会ではすでに地域の高齢者に約60枚を配布しており、今回はマスクを必要とする100歳以上の方に向けて作られました。

会長の高瀬睦子さんは「高齢者が使いやすい白色のマスクを作りました。ぜひ使ってほしいです。」と話しました。



曾於市更生保護女性会の高瀬会長

ひのき 檜から竹が生えた！？

5月上旬、大隅町荒谷の農道で檜の幹にできた空洞の中を通して竹が生えている様子が発見されました。

発見した上段幸徳さんは「毎日通る道路の清掃作業中に見つけた。最初に見つけた時はいたずらかと思い伐ろうとしたが、本当に竹が生えていてびっくりした。今ではそっと成長を見守っています」と目を細めていました。



檜の幹の空洞から竹が生えている様子

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

「弥五郎どん」の油絵を寄贈

5月18日、大隅町出身で愛知県名古屋市在住の馬場達郎さんから油絵の寄贈がありました。

寄贈された絵画は馬場さんの故郷である岩川の「弥五郎どん」をモデルに描かれたもので、令和元年11月にギリシャ・アテネで開催されたジャパンウィークに出展した作品です。

寄贈された絵画は大隅支所1階の玄関に展示されています。



寄贈された油絵

消毒用高濃度アルコールを寄付

5月18日、大隅町で酒造業を行う岩川醸造株式会社が来庁され、新型コロナウイルスの影響を受け消毒液の代替品として製造した高濃度アルコールIWAGAWA77の寄付をいただきました。

常務取締役の吉元雄二さんは「酒造技術を活かして地元に貢献していきたいです」と話しました。

寄付された高濃度アルコールは市内の小中学校に配布され消毒用として活用されます。



岩川醸造(株)の石川さんと吉元さん

そお市レディー退任・就任式

5月22日、曾於市観光協会でそお市レディー退任・就任式が行われ、崎浜絵美さんと切通琴美さんが退任され、新しく永吉真実さんと佐野萌美さんが就任されました。退任した崎浜さんは「いかに市の魅力を発信するかを考えながら活動してきた。貴重な機会を頂きました」と話しました。就任した永吉さんは「曾於市に行ってみたくて思われるようにPRをしていきたい」と話しました。



左奥から崎浜さん・切通さん・永吉さん・福留さん・佐野さん

厚生労働大臣表彰を受賞

5月21日、民生委員を退任された3名に厚生労働大臣特別表彰贈呈式が行われました。

これは、永年活動された退任民生委員・児童委員に贈られるもので、20年以上在職された廣川紀代子さん、15年以上在職された岩寄タニエさん、川崎慈子さんが受賞されました。市長は「長年のご尽力に感謝申し上げます。今後も地域のためにご協力よろしくお願いします」と話しました。



左から廣川さん・岩寄さん・川崎さん・東江会長

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

市営桜ヶ丘団地の建て替えに向けて

5月28日、老朽化のため建て替えられる市営桜ヶ丘団地の完成に向けた安全祈願祭が行われました。

建物規模は鉄筋コンクリート造5階建て、1DK・2DK・3DKの計38戸。建替は地元企業を中心とした9社で行われ、令和3年3月に完成予定です。代表企業の株式会社渡辺組の渡辺紘三副社長は、「地域住民のために地元企業と協力し工期内完成を目指します」と話しました。



鋤入れの儀を行う(株)渡辺組の渡辺紘三副社長

曾於高校前バス停に屋根が完成

5月26日、曾於高校前バス停に新しく屋根が設置され完成式が行われました。

これは曾於高校PTAと学校長がバス停を利用する生徒のために寄付を募り完成したものです。完成式では、寄付を行った市内の企業等に感謝状が贈呈されました。生徒会長の大休寺陸渡さんは「屋根ができたおかげで雨の日に濡れることなくバスを待てるようになりました」と話しました。



曾於高校前バス停に完成した屋根

学校給食に地元農畜産物を提供

6月1日、新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込むなか、農畜産物を消費し、認識を深めてもらうため地元農畜産物を使用した学校給食が提供されました。

この日は、市内全ての小中学校で134^キの牛肉を使用して『ビビンバ』が提供されました。給食を食べた末吉小学校6年の石井花紅さんは「お肉が柔らかくて美味しかった。農家さんに感謝しながら味わいました」と感想を述べました。



給食のようす



ビビンバをおかわりする児童たち

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

ろうきんが防犯ホイッスルを贈呈

6月3日、九州労働金庫（ろうきん）志布志支店から、曾於市・志布志市・大崎町の小学1年生全員に防犯ホイッスルが贈呈されました。志布志支店では「未来を担う子どもを守る活動」としてこの取り組みを行っています。

本市では檉小学校で贈呈式が行われ、ホイッスルを受け取った協迫莉仔さんは「怖いことが起きたら使おうと思います」と話しました。



贈呈式の様子

市へマスクを寄付

6月2日、末吉町で福祉用具のレンタル・販売・ゴミ出し支援等を行うアズールマテリア・S Oが来庁され、新型コロナウイルスの影響のため不足している不織布マスク1,000枚の寄付をいただきました。

事業所長の長田純平さんは「第2波の感染拡大が起きた際に一人でも多くの方に使ってもらいたい」と話しました。



アズールマテリア・S Oの松ヶ野さんと長田さん